

広島県公立高校入試徹底分析【国語】

【形式・難易度】

試験時間	50分	配点	50点
問題構成	文学的文章、説明的文章、古典の大問3題構成になっていた。 大問1は文学的文章の読解問題で、配点は22点分。（出典：「この夏の星を見る」辻村深月）そのうち内容読解以外の問題は、漢字の問題（読み・書き）が5点分出た。 大問2は説明的文章の読解問題で、配点は18点分。（出典：「気候変動適応情報プラットフォームウェブサイト」より） 大問3は古典の読解問題で、配点は10点分。（出典：「呂氏春秋」）そのうち内容読解以外の問題は、仮名遣いの問題と返り点を打つ問題がそれぞれ1点分ずつ出た。 受検者平均点は、広島県教育委員会の発表によると、昨年度の26.2点（正答率52.4%）に対して、本年度は29.5点（正答率59%）に上がったため、単純な経年比較はできないものの、難易度は易しくなったといえる。		

	令和6年度(2024)	令和5年度(2023)	令和4年度(2022)	令和3年度(2021)	令和2年度(2020)
問題量(A4で)	10ページ分	10ページ分	13ページ分	14ページ分	11ページ分
小問数	21問	23問	20問	21問	21問
論述問題の数	5問	7問	9問	10問	9問
論述問題配点	22点	29点	36点	33点	34点
受験者平均点	29.5点	26.2点	24.6点	21.5点	26.5点

※広島県教育委員会の発表より

【出題の傾向と対策】

①漢字・語句・古文や漢文の基本文法に関する知識は毎年出題される。

知識の定着を図る学習を日々継続しておこなっておくことが必要。

- [一] 1 ㊦「ソウ」の漢字を書きなさい。（受検者正答率 81.3%）
- [三] 1 「日はく」の平仮名の部分を、現代仮名遣いで書きなさい。（受検者正答率 91.4%）
- [三] 3 「見_{ルニ}之_ヲ」に、「之を見るに」の読み方になるように、返り点を書きなさい。
（受検者正答率 83.0%）

★漢字の出題では、これまで、大問一で「漢字の読み」の問題を3問、大問二で「漢字の書き」の問題を3問出していたが、本年度から大問一に「漢字の読み・書き」の問題がまとめられて全部で5問に変わった。受検者の正答率も、5問中4問は90%以上なので、落とせない問題となっている。日頃から漢字を形だけでなく意味も理解して覚えておくことが必要だ。「読み」と「書き」を併せて配点は5点もあり、全体の1割も占めているので、侮ることなく準備をしておかなければならない。

★問題形式が古文の場合は「仮名遣い」の問題が、形式が漢文の場合は「返り点」か「書き下し文」の問題が出題される可能性が高い。しかし、基本的な読み方しか問われないので、歴史的仮名遣いと現代仮名遣いの違いや、返り点の打ち方、さらに返り点の読み方について理解に抜けがないようにしなければならない。

②文学的文章の読解問題では、場面の展開に即して、登場人物の心情を捉え、それを適切に表現する力が試される。

- [一] 6 ㊦・㊧の描写について、国語の時間に生徒が班で話し合いをしました。次の【生徒の会話】はそのときのものです。これを読んで、空欄Ⅲに当てはまる適切な表現を、二十五字以内で書きなさい。また、空欄Ⅳに当てはまる適切な表現を、四十五字以内で書きなさい。
（受検者正答率 Ⅲ：30.1%，Ⅳ：7.1%）

【生徒の会話】（※一部を表記）

藤井： ㊦のときは、講演会での花井さんの話を聴いたり、凛々しい姿を見たりして「ぼーっとなった」のではないかな。

村上： そうだね。だけど、それだけかな。本当に宇宙に行ったことのある宇宙飛行士の花井さんと

(Ⅲ) ことも、「ぼ一っとなった」ことに関係していると思うよ。そして、⑩のときは、(Ⅳ) から「あまりにぼ一っとなりすぎた」のだと思うよ。

★場面の展開に即して、主人公である亜紗の心情を捉え、それを空欄に合うように適切に表現する問題となっていた。

③説明的文章の読解問題では、論理の展開に即して内容を的確に捉え、それを適切に表現する力が試される。

【二】 3 空欄Cに当てはまる最も適切な表現を、次のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。
(受検者正答率 67.0%)

- ア 進化の速度が気候変動の速度よりも緩やかであれば、絶滅を避けることができるかもしれませんが、進化の速度が気候変動の速度よりも速ければ絶滅します。
- イ 生物によっては、気候変動によって世代時間が短くなり、それが要因となり絶滅します。
- ウ 気候変動の速度に比べ進化の速度が十分に速ければ、絶滅せずに「変化しながら残る」ことになり、逆に進化の速度が追いつかなければ絶滅します。
- エ 生物の世代時間が長ければ、遺伝子の変化が世代を超えて生じ、絶滅せずに「変化しながら残る」ことになります。

★空欄Cの前後の文意を捉えると、空欄Cに入れる一文が、その直前の文を言い換えた内容になっていることが分かる。それに気づけば、正解となる選択肢を選ぶことができた。論理の展開を理解できているかどうかを試された問題であった。

④古典の読解問題では、文章の展開に即して内容を的確に捉え、それを適切に表現する力が試される。

【三】 4 国語の時間に生徒がこの文章を読んで、班で話し合いをしました。次の【生徒の会話】はその時のものです。これを読んで、空欄Iに当てはまる適切な表現を、現代の言葉を用いて、八十字以内で書きなさい。(受検者正答率 3.0%)

【生徒の会話】(※一部を表記)

今井： 「化を觀ること遠きなり」とあるよね。孔子は、弟子たちの行動が、後々に与える影響を考えたのだと思うよ。人々の手本となるべき賜の取った行動が、後々に与える影響を考えてみたらいいと思うよ。

青木： それを踏まえると、孔子は、(I) から、「魯人、人を贖はざらん」と考えて、賜の行動を「間違っている」と言ったのかな。

★文章を読み進めながら、孔子の発言を基に、孔子の考えを捉えること、そしてそれを条件に合わせて適切に表現することが求められる問題となっていた。なお、この問題の条件とは、孔子が出した結論の根拠を明らかにすることであった。

解答(※解答は県発表の標準解答に拠る)

①【一】 1 ㊦ 層 【三】 1 わく 【三】 3 見_レ之_ヲ

②【一】 6 Ⅲ(例) 近い距離で同じ空間にいることが奇跡のように思えた(24字)
6 Ⅳ(例) 遠い存在だと感じていた尊敬する人が、視線を向けながら、自分たちに向けた言葉を送ってくれた(44字)

③【二】 3 ウ

④【三】 4(例) 賜の行動を手本とすると、魯の国の人が自国の人を金を払って救っても、国からの金を受け取れず、自国の人を救うためには、自ら金を負担しなければならないことになる(77字)